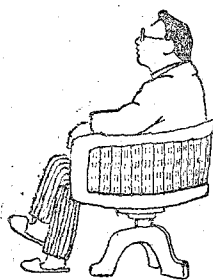


漫 録

上海、香港の道路費

某局長官 繰延削減居士



上海に着いたのは四月四日の朝である。今度来たのは三度目であるが、市中の様子は前二回と全然一變して居て宛で戦時の状態である。山東軍と南軍との戦鬪の名残は各所にまざまざと残つて居て、新公園や六三花園の附近の民家には大小彈丸の痕が宛で蜂の巢のやう。共同租界の周圍には鐵條網と土囊とが張り廻らされ、日英米伊の陸戰隊等が

嚴めしやかに警備してゐる。此最中に道路の調査でもあるまいとは思つたが、日本出立の際必ず通信をすると約束した以上、之を素つほかしたら歸朝後路政會から大眼玉を頂戴する事は受合であるから、面倒臭いとは思つたが工部局に出頭して道路費の豫算を調べて見た。上海の事情を知らぬ方は、工部局と云ふと何か市役所の中の土木局のやうに

誤解される方があるかも知れぬが、上海の共同租界の工部局は警察衛生土木教育其の他萬般の行政を管掌して居る役所で、なづ市役所と警視廳と府廳とを一所にしたものと思へばたいした間違にはならない。

千九百二十六年の豫算は勿論出來て居るが、決算がまだ出來て居ないので、豫算の款項目の組み方が一寸込み入つて居る爲め道路の爲め使用する金額だけを計算する事が困難である。少し古い千九百二十五年（大正十四年）の決算から調べあけて見ると

總支出額 九百四十八萬八千四百八十二兩^{テイル}

此内

道路維持費

七十七萬三千六百三十四兩^{テイル}

道路掃除費及撒水費

十四萬六千九十二兩^{テイル}

則ち道路に要する費用は計九十一萬九千七百二十六兩^{テイル}で總豫算の約一割に該當する計算となる。茲で一寸御斷はりをして置かなければならん事は、上海の共同租界の道路の鋪裝は已に出來あがつて居る事である。則ち我が東京市や

大阪市の如く新鋪裝に關する臨時費が計上されて居るわけではない。言葉を変えて申せば、已に鋪裝した道路の維持費に全豫算の十分の一を費して居る次第である。くどく議論は致さないが、道路に關する役人や、市民の頭が、東京や大阪の役人や、市民の頭と丸で違つて居る事だけは明瞭であると思ふ。

× × × × × × × ×

香港に上陸して政廳を訪問したのは四月八日である。此處の豫算の編成方法は頗る複雑であつて、上海の如く一見して總豫算から道路費を抜き出す事が困難である。千九百二十五年（大正十四年度）の總支出決算額は

二千八百二十六萬六千八百七十七兩九十四仙（メキシコ弗）

であつて、其の内土木費中に

人件費 百三十四萬六千九十一兩十仙

と云ふのがあるが、此の内、どれだけが道路に關係する職員費用であるか、係りの人に聞ても一寸明瞭でない。而

して道路維持費として明に計上してゐるのは

百五十七萬四千四百三十一弗七十五仙

であつて、此の外に臨時土木費として

八百六十三萬八千九百三十弗八十七仙

と云ふ額が支出されてゐる。係員の説明に依れば臨時土木費中には上下水道の修覆、公園電燈の増設等の費用をも含むでは居るが、其の主たるものは道路擴張及新設費であると云ふ。羨ましいことである。香港に來たのは今回で四度目であるが、来る度毎に島内の道路が延長され、完成されて行くのが眼立つて見えるのは當然であると思ふ。

此の外に書き度い事が少しばかりあるが船は目下赤道近くを進航しつゝあるので炎暑やくが如く、此の上、到底閑筆を弄する勇氣がない。第一信は此の位で御免を蒙つて、此原稿は本日新嘉坡に着てから投函する事と致す筈である。

(四月十四日朝於賀茂丸)

水の都：大阪の八百八橋は昔のこと

花の都の江戸は八百八町、水の都の大阪は八百八橋と昔から言傳へてゐるが、さて大阪に現在いくら橋があるかといふと、最近市土木部で調査した處では、千六百五十三橋舊市だけでは約三百、大正十年頃と比して百餘り減少し舊幕の初めから見ると、それ以上少くなつてゐる。これは明治十八年の大洪水、其後の曾根崎川、櫻川、松島堀割の埋立が原因である、以上千六百五十三橋の中でコンクリートに改造されたものが百二十三橋現に工事中のものは渡邊橋、肥後橋、堂島大橋、末吉橋等々と數へれば大分ある、涼しさに渡る四つ橋の中、吉野屋橋を除いた三橋の新裝成るのも遠い事ではないし渡邊橋、肥後橋も今秋までには竣功しやう。大阪名代の船場、島の内を結ぶ長堀川に架かつた心齋橋の舊の橋材が、去る明治四十一年三月に港區の境橋となつて勤めて來たが、近々更に舊阪神國道、神崎川新千船橋として三度の奉仕をすることになつてゐる、明治九年大阪始めての鐵橋として、高麗橋が出來た當時市民は辨當持で見物に出かけたものだが、名橋舊心齋橋の變つた姿を恐らく昭和の子は自動車の轍にかけて過る事であらう。